



平成 21 年 12 月 11 日

各 位

会社名 : 田崎真珠株式会社
(コード : 7968 東証第一部)
代表者名 : 代表執行役社長 田島 寿一
問合せ先 : 専務執行役 飯田 隆也
(TEL : 078-302-3321)

「継続企業の前提に関する注記」の記載解消に関するお知らせ

当社は、本日発表の平成 21 年 10 月期決算短信において、「継続企業の前提に関する注記」の記載を解消することになりましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

当社グループは、継続的な当期純損失が発生するなど継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせるような状況があったこと等により、平成 20 年 1 月 23 日開示の“「継続企業の前提に関する注記」に関するお知らせ”以降、平成 21 年 10 月期第 3 四半期決算短信まで「継続企業の前提に関する注記」を記載しておりました。

当連結会計年度（平成 21 年 10 月期）においても、74 億 75 百万円の当期純損失であったことから、5 期連続の当期純損失を計上することとなり、継続企業の前提に関する重要事象は生じておりますが、当社グループは当該状況を解消すべく、以下の施策を実施中であります。

当社グループは、前連結会計年度において、70 億円の増資、及び、これによる取引銀行とのリファイナンスも完了し、財務制限条項への抵触は回避され、手許流動性等の資金面は大きく改善し、有利子負債の削減等、財務体質の健全化を図っております。

また、当連結会計年度においては、平成 21 年 1 月より取締役・代表執行役社長田島寿一を始めとする新経営陣の下、ブランドの刷新・価値向上に向け、事業構造改革を強力に進めております。

なお、当社ホームページの「平成 22 年 10 月期（当期）目標」をあわせてご参照下さい。

(当社ホームページ) <http://www.tasaki.co.jp>

以上のように当該状況を解消するための施策により、継続企業の前提に関する不確実性が現時点では認められるまでには至らなくなったと判断し、当該注記を解消いたしました。

株主をはじめとするステークホルダーの皆さまには、大変ご心配をお掛けいたしました。今後も全社をあげて収益力の回復と早期黒字化を目指してまいりますので、引き続きご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

以 上